



**武蔵野市第三期  
基本構想・長期計画**

平成5年度～16年度(1993～2004)

# 武蔵野市第三期 基本構想・長期計画

平成5年度～16年度(1993～2004)





## はじめに

武蔵野市第三期基本構想・長期計画は、平成5年(1993年)3月1日、市議会において可決、決定されました。

この計画は、平成5年度から平成16年度(2004年)までを展望した総合計画であります。策定委員会が発足以来1年5か月にわたる、市民、職員、専門家の皆様方が、各々持つ力を結集した成果であります。とりわけその中心となった勝田有恒策定委員長を始め策定委員会の委員の皆様方のご苦勞に対して、心から敬意と謝意を表します。

基本構想は三章立てになっております。第一章で、基本構想・長期計画の前提となるべき、人口、まちの性格等の基本データとこれまでの成果の点検、21世紀へ向けての課題、策定期間、ローリングの方法等記述をいたしました。

第二章では、まちづくりの目標と吉祥寺圏、中央圏、武蔵境圏と各々駅勢圏ごとの計画の方向を明示いたしました。駅を中心とした、まちづくりの方向を基本構想に明示したのは初めてのことです。

第三章では、I.健康・福祉、II.教育・文化・コミュニティ、III.環境・市民生活・産業、IV.都市基盤、V.行・財政、と各々の分野にわたって、施策の大綱を述べています。

長期計画は基本構想にもとづき、各分野ごとのより具体的な事業計画の位置づけであります。

新しい長期計画は、三章に分かれております。まず第一章では、前半6年間に優位して取り組むべき事業を9事業特定して、施策の概要とその事業に要する年次ごとの予算の概算額を明示いたしました。

第二章は、施策の体系であります。基本構想の分類に従って、5分野に分けて、具体的な事業ごとに、考え方、事業内容、将来課題等述べています。項目を整理して重複しないよう読みやすくするための配慮を行いました。

第三章は計画された事業の財政的裏づけとなるべき、財政計画について記述してあります。

第三期基本構想・長期計画は21世紀にかかる計画ですが、第一期基本構想からみると様々な点で変化があります。その変化の最大のものは、地球の有限性を市民が認識したことにあるのではないのでしょうか。第一期基本構想は昭和46年に始まりました。着手したのは前年の昭和45年でした。西暦1970年という年は、日本のGNP1人当たり1,920ドル、世界の中で占める割合は6.3%に過ぎませんでした。高度経済成長時代であり日本は先進国の仲間入りをしようと頑張っていた時代です。

都市化がすすみ、生活環境が悪化し、“隣りは何をやる人ぞ”で東京砂漠といわれた時代背景を受けて、第一期基本構想は、緑とコミュニティ、が二大目標でした。ふりかえると、当時市役所には冷房も電卓もない時代でした。“成長の限界”を指摘した先駆的な警世書、ローマクラブレポートが出たのは2年後のことです。

以来22年が経ちました。

日本の経済的発展は目を見張るものがあります。1990年の日本のGNPは1人当たり24,125ドルとなり、世界の13.7%を占めるようになりました。今日世界各国の中で最も平和で安定し、物質的に繁栄している国になりました。また、科学技術の飛躍的発展が、コンピュータ技術やコミュニケーション技術に結実して、私達は瞬時に世界各地と、通信や映像でネットワークされる時代となりました。同時に世界人口の急増と相まって、資源と廃棄の両面で環境問題がクローズアップされ、地球の有限性が認識されてまいりました。こういう時代背景の大きな変化をベースに、第三期基本構想・長期計画が策定されたのであります。

一期・二期の長期計画に比較していくつか特徴があります。

一点目は、前述しましたように

地球の有限性を考え、世界の国々とつながりを大切にするため、国際交流事業やリサイクル等、地球環境問題に視点を置いたこと。

二点目は、姉妹・友好都市を始めとする自治体交流や、周辺都市との協議会設置などによる広域行政を視野に置いたこと。

三点目として、本格的な高齢化社会を展望して、健康、就労、住居、社会参加等に焦点を置いたこと。

四点目として、都市基盤整備を用途地域・建築確認事務や交通対策等、他の権限に属することを含め総合的にすすめること。

五点目に、策定課題に市場調査の手法を取り入れたり、タウンウォッチング等、多様な市民参加の形態を取り入れたこと。同時に、交通、環境、都市、住居、高齢者などの諸課題について、専門家チームの知恵を借りたこと等々であります。

おかげ様で、総合的な密度の濃い計画が出来上がったと思います。

私は市長として、この基本構想・長期計画の実現に責任をもって全力をつくすことをお約束いたします。



平成5年5月

武蔵野市長

土屋正忠

# 基本構想

## 前文 21世紀を先導するまち、武蔵野

—平和で、自由で、豊かな地域社会の実現を目指して— ……13

## 第1章 第三期基本構想・長期計画の前提

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1. 市勢と将来展望 ……           | 16 |
| (1) 市勢 ……               | 16 |
| (2) 将来展望 ……             | 16 |
| 1) まちの性格 ……             | 17 |
| 2) 人口構成 ……              | 17 |
| 3) 財政見通し ……             | 17 |
| 2. これまでの成果 ……           | 18 |
| (1) 長期計画策定方式 ……         | 18 |
| (2) 第二期長期計画の実績 ……       | 18 |
| (3) 行財政改革の成果 ……         | 18 |
| 3. 21世紀に向けての新たな課題 ……    | 20 |
| 4. 策定期間とローリング・スケジュール …… | 21 |

## 第2章 21世紀の武蔵野—まちづくりの目標と個性ある圏域づくり

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. まちづくりの目標 ……         | 24 |
| (1) 地域ふれあいまちづくり ……     | 24 |
| (2) 子どもがいきいき育つまちづくり …… | 25 |
| (3) 快適環境まちづくり ……       | 25 |
| (4) 広域協力まちづくり ……       | 25 |
| (5) 情報交流まちづくり ……       | 26 |
| (6) 「市民のふるさと」まちづくり ……  | 26 |
| 2. 個性ある圏域づくり ……        | 27 |
| (1) 吉祥寺圏 ……            | 27 |
| (2) 中央圏 ……             | 28 |
| (3) 武蔵境圏 ……            | 28 |

## 第3章 施策の大綱

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| I. 地域のふれあいで築く—健康・福祉 ……           | 30 |
| 1. 健康 ……                         | 30 |
| 2. 高齢者福祉 ……                      | 30 |
| 3. 障害者福祉 ……                      | 31 |
| 4. 地域福祉 ……                       | 31 |
| II. 知性とゆとりが育てる—教育・文化・コミュニティ ……   | 32 |
| 1. 基本的視点 ……                      | 32 |
| 2. 就学前児童へのサービスの充実 ……             | 32 |
| 3. 小・中学校教育の充実 ……                 | 32 |
| 4. 生涯学習 ……                       | 32 |
| 5. 文化 ……                         | 32 |
| 6. コミュニティ ……                     | 33 |
| 7. 都市・国際交流 ……                    | 33 |
| III. 快適で豊かな生活を保障する—環境・市民生活・産業 …… | 34 |
| 1. 廃棄物 ……                        | 34 |
| 2. 公害のない清潔なまち ……                 | 34 |
| 3. 緑と水 ……                        | 34 |
| 4. 市民生活 ……                       | 34 |
| 5. 産業 ……                         | 35 |



|                     |    |
|---------------------|----|
| IV. 安全と利便性を高める—都市基盤 | 36 |
| 1. 土地利用計画の樹立        | 36 |
| 2. 市街地整備の推進         | 36 |
| 3. 住宅政策             | 37 |
| 4. ハイモビリティ都市の構築     | 37 |
| 5. 自転車対策の推進         | 37 |
| 6. ライフラインの整備        | 37 |
| 7. 災害に強いまちづくり       | 37 |
| 8. まちづくり推進体制の整備     | 37 |
| V. 成熟した市政を支える—行・財政  | 38 |
| 1. 計画行政の推進          | 38 |
| 2. 情報化の推進           | 38 |
| 3. 市民参加の推進          | 38 |
| 4. 市民のふるさとづくり事業     | 38 |

## 長期計画

### 第1章 市民生活を豊かにする9つの優先事業

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. 武蔵境駅北口周辺再開発事業の完成    | 42 |
| 2. 中央図書館の新築            | 42 |
| 3. 吉祥寺ナーシングホーム（仮称）の建設  | 42 |
| 4. 千川小学校の改築            | 42 |
| 5. 農林水産省食糧倉庫跡地の取得と利用計画 | 43 |
| 6. 緑町住宅団地の建て替え         | 43 |
| 7. 富士高原学園の改築           | 43 |
| 8. 歴史資料館の設置            | 43 |
| 9. 商工会館の改築             | 43 |

### 第2章 施策の体系

|                          |    |
|--------------------------|----|
| I. 健康・福祉                 | 46 |
| 1. 健康                    | 47 |
| (1) 健康施策の基本的視点           | 47 |
| (2) 継続的課題                | 47 |
| (3) 新たな課題                | 47 |
| 2. 高齢者福祉                 | 49 |
| (1) 高齢者福祉の原則             | 49 |
| (2) 社会的活動によるコミュニティ形成への参画 | 50 |
| (3) 高齢者保健福祉計画            | 50 |
| (4) 食事サービスの検討            | 51 |
| 3. 障害者福祉                 | 52 |
| (1) 現状と課題                | 52 |
| (2) 必要な施策                | 52 |
| 4. 児童福祉                  | 53 |
| 5. 地域福祉                  | 53 |
| (1) 地域福祉計画               | 53 |
| (2) 本市における社会福祉施策の課題      | 53 |
| II. 教育・文化・コミュニティ         | 56 |
| 1. 基本的視点                 | 57 |

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 2. 就学前児童へのサービスの充実           | 57 |
| (1) ニュータイプの乳幼児施設            | 58 |
| (2) 保育園                     | 58 |
| (3) 保育室、家庭福祉員               | 59 |
| (4) 幼稚園                     | 59 |
| 3. 小・中学校教育の充実               | 60 |
| (1) 学校週5日制への対応              | 60 |
| (2) 学校教育の向上                 | 60 |
| (3) 個性を伸ばし活力・自主性を身につけるための施策 | 61 |
| (4) 教育関連施設の整備               | 62 |
| 4. 生涯学習                     | 63 |
| (1) 生涯学習推進体制の整備             | 63 |
| (2) 子ども施策の充実                | 64 |
| (3) 学校施設開放の推進               | 65 |
| (4) 図書館ネットワークの形成            | 66 |
| (5) 市民スポーツの振興               | 66 |
| 5. 文化                       | 67 |
| (1) 施設の整備と適正な運営             | 67 |
| (2) 文化施設に対する環境づくり           | 68 |
| 6. コミュニティ                   | 69 |
| (1) コミュニティづくりの推進            | 69 |
| (2) 学校施設開放によるコミュニティづくり      | 69 |
| (3) ボランティア活動によるコミュニティづくり    | 69 |
| 7. 都市・国際交流                  | 70 |
| (1) 国際交流                    | 70 |
| (2) 都市交流                    | 70 |
| (3) 外国人市民へのサービス             | 70 |
| III. 環境・市民生活・産業             | 71 |
| 1. 廃棄物                      | 72 |
| (1) 廃棄物対策                   | 72 |
| (2) クリーンセンターの建て替え           | 72 |
| (3) リサイクル                   | 73 |
| 2. 公害のない清潔なまち               | 73 |
| 3. 緑と水                      | 74 |
| 4. 市民生活                     | 76 |
| (1) 市民の安全                   | 76 |
| (2) 消費者運動への支援               | 77 |
| (3) 女性の社会参加への協力             | 78 |
| 5. 産業                       | 79 |
| (1) 商業の活性化                  | 80 |
| (2) 農業振興                    | 81 |
| (3) 就労機会提供システムの整備           | 81 |
| (4) 武蔵野市勤労者互助会の機能強化         | 81 |
| IV. 都市基盤                    | 82 |
| 1. 都市計画の課題                  | 84 |
| 2. 都市基盤整備の新たな視点             | 85 |
| (1) 基礎的住宅街区の保全              | 85 |
| (2) 広域協力一応分負担               | 85 |

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| (3) TWCCの理念              | 85  |
| 3. 施策の体系                 | 85  |
| (1) 土地利用計画の樹立            | 85  |
| (2) 市街地整備の推進             | 86  |
| (3) 住宅政策                 | 90  |
| (4) ハイモビリティ都市の構築         | 91  |
| (5) 自転車対策の推進             | 92  |
| (6) ライフラインの整備            | 93  |
| (7) 災害に強いまちづくり           | 94  |
| (8) まちづくり推進体制の整備         | 94  |
| 4. 圏域別の都市計画              | 96  |
| (1) 吉祥寺圏                 | 96  |
| (2) 中央圏                  | 97  |
| (3) 武蔵境圏                 | 98  |
| V. 行・財政                  | 100 |
| 1. 計画行政の推進               | 101 |
| (1) 調整計画の策定              | 101 |
| (2) 市民サービス向上のための施策       | 101 |
| (3) 広域行政の推進              | 101 |
| (4) 的確な政策判断のための科学的データの整備 | 102 |
| (5) 西庁舎の増築               | 102 |
| (6) 庁内組織と職員の活性化          | 102 |
| 2. 情報化の推進                | 102 |
| (1) 情報公開と個人情報の保護         | 102 |
| (2) 庁内情報システムの構築          | 102 |
| (3) 地域情報システムの構築          | 103 |
| (4) 情報サービス事業の総合的調整       | 104 |
| 3. 市民参加の推進               | 105 |
| 4. 市民のふるさとづくり事業          | 105 |
| (1) 武蔵野百年史編さん事業          | 105 |
| (2) TAMAらいふ21事業          | 105 |
| (3) 市制施行50周年記念事業         | 105 |
| (4) CIによる武蔵野らしさの追求       | 105 |

### 第3章 財政計画

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 1. 財政計画の意義と実績   | 108 |
| 2. 第二期長期計画の実績   | 108 |
| (1) 安定した歳入状況    | 108 |
| (2) 健全な歳出実績     | 108 |
| 3. 第三期長期計画の財政計画 | 109 |

\* [     ] 内は、関連・参照頁を示す。

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 〈付表〉 第三期長期計画主要施策一覧表    | 110 |
| 〈参考〉 第三期基本構想・長期計画策定の経過 | 123 |



